



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社  
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹本 裕詞  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川瀬 和昭 (TEL) 04-2955-1211  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	38,678	9.4	2,893	△7.8	2,677	△12.7	2,113	2.5	1,647	△4.2	2,544	109.8
27年3月期第1四半期	35,346	—	3,137	—	3,065	—	2,062	—	1,718	—	1,213	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	68.57	—
27年3月期第1四半期	71.54	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	134,887	65,408	55,688	41.3
27年3月期	133,550	63,774	53,801	40.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,000	—	4,500	—	4,300	—	2,900	—	2,100	—	87.45
通期	153,000	1.8	10,200	△29.6	9,900	△31.8	6,500	△33.8	4,700	△43.6	195.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	24,042,700株	27年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	29,218株	27年3月期	29,218株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	24,013,482株	27年3月期1Q	24,013,562株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、平成27年3月期決算短信（平成27年5月8日発表）における業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、設備投資や個人消費は持ち直しの兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米国の景気は、金融政策正常化に向けた動きや原油価格下落、ドル高の影響が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として着実に回復しております。アジア諸国の景気は、中国では、不動産価格や金融市場の動向等が懸念されるなか、拡大のテンポは一段と緩やかになっており、インドでは持ち直しております。その他のアジア諸国においては、景気は下げ止まりつつあるものの、一部に弱い動きもみられております。欧州主要国の景気は、政府債務問題や高い失業率の影響が懸念されるものの、持ち直しております。

このような状況のもと、当社グループは、昨年4月からスタートした第12次中期計画の施策展開として、多様な顧客ニーズに対応するため、研究開発におきましてはシミュレーション技術を活用した開発期間の短縮や高付加価値、かつコスト競争力のある技術・製品の開発に取り組んでおります。その結果、主力製品である樹脂製燃料タンク及びバサンルーフに新たなラインナップを追加し、量産を開始しております。生産におきましては品質維持向上活動や生産効率向上活動を継続推進し、第12次中期方針で掲げている『グローバルでトップクラスの技術・製品の競争力を獲得する』を目指し、お客様に良いものをタイムリーに供給できる体制を更に強化しております。管理におきましては業務プロセス改善活動をグローバルで展開し、設計から量産に至る開発・生産・管理の全部門で製品仕様、製造プロセス、生産管理等、あらゆる領域のロスを削減し、着実に改善効果を上げております。人材におきましては中長期計画に基づいた能力向上プログラムの実践とその能力を最大限発揮できる適切な要員配置を進めております。

当第1四半期連結累計期間の継続事業における売上収益は、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などはあったものの、為替換算上の影響により、386億7千8百万円と前年同期に比べ33億3千2百万円、9.4%の増収となりました。利益につきましては、原価改善効果や為替換算上の影響などはあったものの、受注の減少などにより、継続事業からの営業利益は28億9千3百万円と前年同期に比べ2億4千3百万円、7.8%の減益となりました。継続事業からの税引前四半期利益は、26億7千7百万円と前年同期に比べ3億8千8百万円、12.7%の減益、継続事業からの四半期利益は21億1千3百万円と前年同期に比べ3千2百万円、1.5%の減益となりました。

なお、当社グループの非継続事業も含めた全事業の売上収益は前年同期に比べ20億4千3百万円、5.0%の減収、営業利益は前年同期に比べ1億2千万円、4.0%の減益、税引前四半期利益は前年同期に比べ2億3千4百万円、8.0%の減益、四半期利益は前年同期に比べ5千1百万円、2.5%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などにより、売上収益は、85億6千8百万円と前年同期に比べ13億4千1百万円、13.5%の減収となりました。税引前四半期利益は、原価改善効果などはあったものの、受注の減少などにより、5千9百万円と前年同期に比べ1千6百万円、21.0%の減益となりました。

(米州)

米州においては、連結子会社であるエーワイマニュファクチュアリングリミテッド(米国)における受注の増加や為替換算上の影響などにより、売上収益は、110億3百万円と前年同期に比べ29億7千6百万円、37.1%の増収となりました。税引前四半期利益は、為替換算上の影響はあったものの、機種構成変化や新機種の立上り費用などにより、4億1千2百万円と前年同期に比べ3億3千2百万円、44.6%の減益となりました。

(中国)

中国においては、為替換算上の影響はあったものの、連結子会社である八千代工業(中山)有限公司(中国)及び八千代工業(武漢)有限公司(中国)における受注の減少などにより、売上収益は、55億9千6百万円と前年同期に比べ3千9百万円、0.7%の減収となり、税引前四半期利益は、9億4千6百万円と前年同期に比べ3億5千9百万円、27.5%の減益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるサイアムゴウシマニュファクチュアリングカンパニーリミテッド(タイ)及びゴウシインディアオートパーツプライベートリミテッド(インド)における受注の減少などはあったものの、為替換算上の影響などにより、売上収益は、135億1千1百万円と前年同期に比べ17億3千6百万円、14.7%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の減少はあったものの、為替換算上の影響などにより、12億7千3百万円と前年同期に比べ3億7千4百万円、41.6%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,348億8千7百万円と前年度に比べ13億3千7百万円の増加となりました。増加した要因は、持分法で会計処理される投資や有形固定資産の減少はあったものの、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権の増加などによるものであります。

負債合計は、694億7千9百万円と前年度に比べ2億9千7百万円の減少となりました。減少した要因は、営業債務及びその他の債務が減少したことなどによるものであります。

資本合計は、654億8百万円と前年度に比べ16億3千4百万円の増加となりました。増加した要因は、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業債務及びその他の債務の減少額7億6千2百万円、配当金の支払額9億1千万円及び有形固定資産の取得による支出16億2千4百万円などがあったものの、税引前四半期利益26億7千7百万円及び減価償却費及び償却費21億8千4百万円などにより、当第1四半期連結会計期間末における資金残高は199億6千2百万円となり、前年度に比べ14億3千2百万円増加しました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、営業債務及びその他の債務の減少額7億6千2百万円及び法人所得税の支払額4億3千2百万円などがあったものの、税引前四半期利益26億7千7百万円及び減価償却費及び償却費21億8千4百万円などにより、前年同期に比べ6億8千5百万円増加し、32億4千2百万円（前年同期は25億5千7百万円の収入）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出16億2千4百万円などがあったものの、関連会社株式の売却による収入9億2千6百万円などにより、前年同期に比べ17億3千9百万円減少し、8億1千6百万円（前年同期は25億5千6百万円の支出）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、配当金の支払額9億1千万円などにより、前年同期に比べ13億9千9百万円増加し、10億3千5百万円（前年同期は3億6千4百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年3月期の売上収益は、自動車組立分野における機種構成変化及び受注台数の増加や二輪部品の受注の増加、為替換算上の影響などにより前回予想を上回る見通しとなりました。また利益につきましても、増収に伴う利益の増加や、原価改善効果及び為替換算上の影響などにより営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

以上のことから、連結通期業績予想を以下のとおりとしております。

## &lt;連結業績の見通し&gt;

売上収益	1,530億円	（前年度比	1.8%増）
営業利益	102億円	（前年度比	29.6%減）
税引前利益	99億円	（前年度比	31.8%減）
当期利益	65億円	（前年度比	33.8%減）
親会社の所有者に帰属する当期利益	47億円	（前年度比	43.6%減）

なお、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の新たに適用する基準を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、以下の基準書及び解釈指針をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。これらの基準書等の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第19号	従業員給付	従業員又は第三者による拠出の会計処理の明確化

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,530	19,962
営業債権及びその他の債権	30,887	32,166
その他の金融資産	2,190	2,022
棚卸資産	9,722	10,137
その他の流動資産	986	1,334
流動資産合計	62,315	65,621
非流動資産		
有形固定資産	58,719	57,825
無形資産及びのれん	4,523	4,592
持分法で会計処理される投資	935	—
その他の金融資産	3,039	2,757
繰延税金資産	683	890
退職給付に係る資産	2,850	2,719
その他の非流動資産	485	483
非流動資産合計	71,235	69,266
資産合計	133,550	134,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	26,976	26,559
借入金	13,821	15,340
その他の金融負債	226	230
未払法人所得税	817	1,106
その他の流動負債	4,794	4,922
流動負債合計	46,634	48,157
非流動負債		
借入金	11,902	10,358
その他の金融負債	116	104
退職給付に係る負債	5,107	5,143
繰延税金負債	5,476	5,217
その他の非流動負債	541	501
非流動負債合計	23,143	21,323
負債合計	69,776	69,479
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,473	3,473
利益剰余金	38,739	40,145
自己株式	△25	△25
その他の資本の構成要素	7,929	8,409
親会社の所有者に帰属する持分合計	53,801	55,688
非支配持分	9,973	9,720
資本合計	63,774	65,408
負債及び資本合計	133,550	134,887

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
<b>継続事業</b>		
売上収益	35,346	38,678
売上原価	△28,969	△32,356
売上総利益	6,377	6,322
販売費及び一般管理費	△2,353	△2,580
研究開発費	△896	△864
その他の収益	87	84
その他の費用	△78	△70
営業利益	3,137	2,893
金融収益	90	159
金融費用	△167	△378
持分法による損益	6	2
税引前四半期利益	3,065	2,677
法人所得税費用	△919	△563
継続事業からの四半期利益	2,146	2,113
<b>非継続事業</b>		
非継続事業からの四半期利益(損失)	△84	—
四半期利益	2,062	2,113
<b>四半期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	1,718	1,647
非支配持分	344	467
<b>1株当たり四半期利益</b>		
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	75.03	68.57
非継続事業	△3.48	—
基本的1株当たり四半期利益合計	71.54	68.57

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期利益	2,062	2,113
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△240	△116
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△240	△116
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△610	546
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△610	546
その他の包括利益合計	△850	430
四半期包括利益	1,213	2,544
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,039	2,127
非支配持分	173	416

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2014年4月1日残高	3,686	3,473	31,187	△25
四半期包括利益				
四半期利益			1,718	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	1,718	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△264	
所有者との取引等合計	—	—	△264	—
2014年6月30日残高	3,686	3,473	32,641	△25

2015年4月1日残高	3,686	3,473	38,739	△25
四半期包括利益				
四半期利益			1,647	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	1,647	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△240	
所有者との取引等合計	—	—	△240	—
2015年6月30日残高	3,686	3,473	40,145	△25

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額				
2014年4月1日残高	1,120	1,719	2,839	41,160	7,821	48,980
四半期包括利益						
四半期利益				1,718	344	2,062
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△240		△240	△240		△240
在外営業活動体の換算差額		△439	△439	△439	△171	△610
四半期包括利益合計	△240	△439	△679	1,039	173	1,213
所有者との取引等						
剰余金の配当				△264	△145	△409
所有者との取引等合計	—	—	—	△264	△145	△409
2014年6月30日残高	880	1,280	2,161	41,935	7,849	49,784

2015年4月1日残高	1,116	6,813	7,929	53,801	9,973	63,774
四半期包括利益						
四半期利益				1,647	467	2,113
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△116		△116	△116		△116
在外営業活動体の換算差額		597	597	597	△51	546
四半期包括利益合計	△116	597	481	2,127	416	2,544
所有者との取引等						
剰余金の配当				△240	△670	△910
所有者との取引等合計	—	—	—	△240	△670	△910
2015年6月30日残高	1,000	7,409	8,409	55,688	9,720	65,408

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,065	2,677
非継続事業からの税引前四半期利益	△154	—
減価償却費及び償却費	2,477	2,184
金融収益	△98	△159
金融費用	206	367
持分法による損益	△6	△2
営業債権及びその他の債権の増減額	247	△162
棚卸資産の増減額	180	△357
営業債務及びその他の債務の増減額	△2,283	△762
退職給付に係る負債の増減額	△118	45
退職給付に係る資産の増減額	0	131
その他(純額)	△79	△365
小計	3,437	3,597
配当金の受取額	36	64
利息の受取額	62	95
利息の支払額	△90	△82
法人所得税の支払額又は還付額	△889	△432
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,557	3,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,188	△1,624
有形固定資産の売却による収入	164	41
無形資産の取得による支出	△282	△252
定期預金の預入又は払戻(純額)	747	△44
関連会社株式の売却による収入	—	926
その他(純額)	3	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,556	△816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減(純額)	2,503	1,706
長期借入金の返済による支出	△1,689	△1,807
親会社の所有者への配当金の支払額	△264	△240
非支配持分への配当金の支払額	△145	△670
その他(純額)	△40	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	364	△1,035
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	365	1,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△184	41
現金及び現金同等物の期首残高	15,586	18,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,768	19,962

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	9,909	8,027	5,635	11,774	—	35,346	—	35,346
セグメント間の内部売上収益	2,023	1	91	11	—	2,127	△2,127	—
合計	11,932	8,029	5,726	11,786	—	37,472	△2,127	35,346
セグメント利益 (税引前四半期利益)	74	745	1,304	899	5	3,027	38	3,065

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
  - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	8,568	11,003	5,596	13,511	—	38,678	—	38,678
セグメント間の内部売上収益	2,121	—	105	33	9	2,268	△2,268	—
合計	10,689	11,003	5,702	13,544	9	40,946	△2,268	38,678
セグメント利益 (税引前四半期利益)	59	412	946	1,273	2	2,691	△15	2,677

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
  - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。